

緑山岳会春合宿 2012/5/2 白馬主稜

日程:

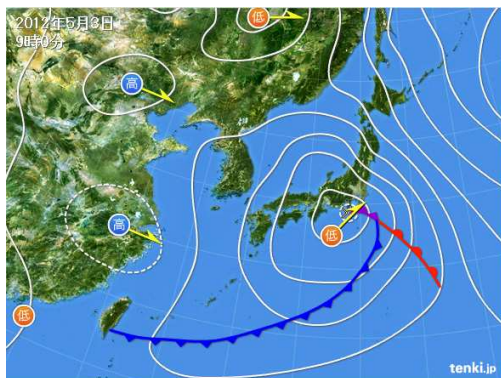
2012/5/2 ～ 2012/5/6

メンバー:

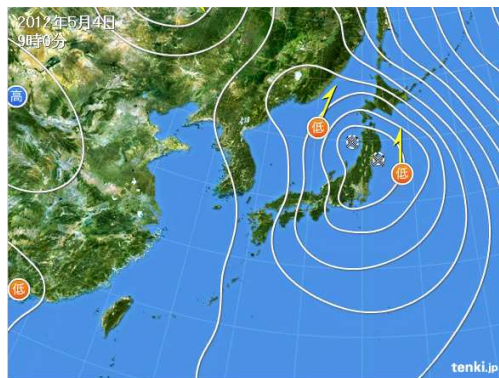
M-Spo (L), POND (SL), Arthur, Martin, Tama(食当), Tuka, Ryo, Yone(記録)

天候

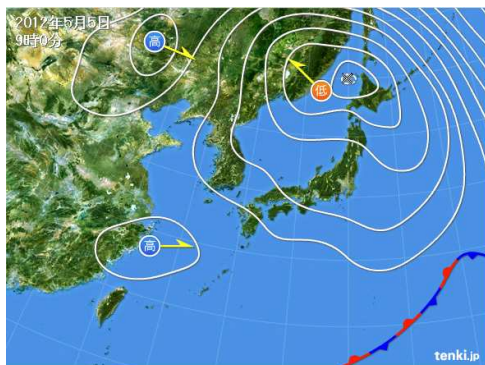
2012/5/3 雨のち曇り



2012/5/4 曇りのち雪



2012/5/5 曇り時々晴れ



2012/5/6 - 雨時々曇り

アクセス:

行き

新宿～白馬 ムーンライト信州 81 号 5760 円

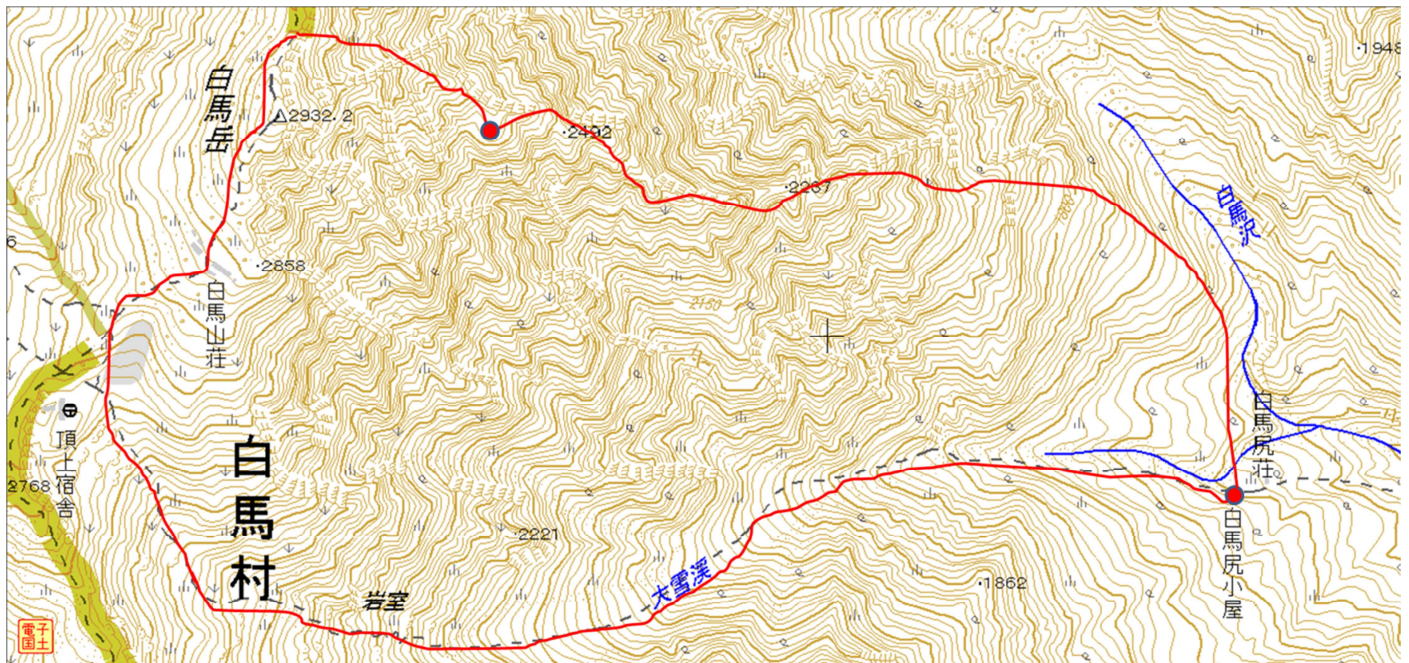
白馬～猿倉 タクシー 4000 円位

帰り

猿倉～白馬 タクシー 4000 円位

白馬～新宿 あずさ あずさ 26 号 7560 円

ルート



行程(概要)

2012/5/3

23:50(5/2) 新宿発 - 5:40 白馬着- 7:45 猿倉発 - 8:45 白馬尻着 (白馬尻泊)

2012/5/4

5:40 白馬尻発 - 15:00 三峰着 (三峰泊)

2012/5/5

6:17 三峰発 - 13:30 白馬稜線 - 16:00 白馬尻着(白馬尻泊)

2012/5/6

10:00 白馬尻発 - 10:34 猿倉着 - 14:38 白馬発 - 18:34 新宿着(解散)

行程(詳細)

2012/5/3	
23:00	新宿駅集合
23:50	新宿発, ムーンライト信州 81 号 白馬駅に向けて出発
5:40	白馬着, ムーンライト信州 81 号 白馬駅に到着
6:30	白馬駅発, タクシーで猿倉に向かう
7:15	猿倉着
7:45	猿倉発, 白馬尻に向かう
8:45	白馬尻荘付近
9:10	白馬尻小屋付近
10:00	テント設営
18:00	夕食
20:00	就寝
2012/5/4	
3:00	起床
5:40	白馬尻出発
7:36	九峰着 2100m
8:00	九峰発
9:23	八峰着 2220m
10:51	五峰着 2305m
14:03	2405m
15:00	三峰着 2550m、テント設営開始
16:30	テント設営完了
19:30	夕食
21:00	就寝
2012/5/5	
3:00	起床
6:17	テント撤収後出発

7:24	二峰取りつき
9:28	二峰中間地点
10:25	二峰ピーク着
11:34	一峰取りつき
13:30	白馬岳本峰
14:18	頂上宿舎
16:00	白馬尻
17:50	テント設営完了
20:00	夕食
24:30	就寝
2012/5/6	
6:40	起床
10:00	白馬尻出発
10:34	猿倉着
14:38	白馬発
18:34	新宿着(解散)

記録

春合宿の前半は小川山、天気も良く気持ちがいいクライミングを経験できた。後半は出発前から低気圧と寒気団が予報されて、雨と雪この季節としては微妙な天気は予測された。装備も防水と防寒、両方を考慮するために少々準備に手間がかかった。

2012/5/3

前夜 22 時に家から新宿駅に向かう。集合は 23 時。この時点ですでに雨が降っている。家からはカッパを上にはおり傘も差してきた。メンバーはほぼ時間通りに集合。POND は大月から乗車の予定。NEWSDAYS で酒とつまみを調達する。TUKA は胃の調子が良くないといって酒を控えている。

ゴールデンウィーク後半開始日であり、新宿駅 9 番線ホームは登山者であふれている。7 割くらいが登山者、3 割が観光、帰省といったところか。席はほぼ満席である。

23:50 ムーンライト信州 81 号は新宿を出発、一路白馬に向かう。早朝着だが、山行の成功を祈りさっそく乾杯。大月で POND と合流する。

車内は暖房ががんに効いているので半袖でも快適にすごせる。松本付近で車内の暖房がきられた。突然寒くなる、いったん起きてジャケットを荷物から取り出す。

5:40 白馬駅到着。期待通りといえるか雨が降っている。猿倉か白馬尻での停滞かと考えつつタクシーに乗る。八方交差点ローソンで買い出しをする。ほぼ停滞が予測され、長丁場の宴会に備えるべく大量のつまみ、酒を購入。

7:45 村営猿倉荘に到着。猿倉荘でテント設営はできないことが判明。白馬尻に向かうべく荷物を整理する。デボを伝えなかったために、Ryo が山小屋スタッフに注意される。POND が機転を利かせて話をまとめる。

9:10 に 1560m 白馬尻小屋付近に到着。手前にある村営白馬尻荘は秋に解体されているので姿はみえない。しかし白馬尻小屋も姿が見えないので雪の深さが思いやられる。



10:00 テント設営完了。

さっそく宴会をはじめ。のんびり酒を飲みながら団らんしていると次第に空が明るくなる。これなら先にも進めたか。山での天候を見極めは至難の業。



M-SPO が会長直伝の生木から火起こす方法を教えてくれる。二人で両手いっぱい太さが違った生木を集める。ねばること **30** 分ほど立派な火が起きた。

夕飯は **Tama** 特製のチャプチェ。甘辛い野菜と肉でご飯が進む。



20 時に就寝、明日の天気は期待できそう。

2012/5/4

3 時に起床する。本日の朝ごはんは肉うどん。しっかり水分をとる。



5 時半過ぎに出発。まずは八峰を目指す。白馬尻からみるよりも斜度はきつい。汗がにじむ。

八峰を超えるとリッジとシュルントが出てくる。八峰付近で **3m** ほどの切り立った雪壁にあたる。高さは低いが落ちれば下は岩塊、念のためにロープをだす。**POND** がリード、あっさり抜ける。そのほかのメンバーが続くが雪を崩してしまいなかなか進めない。思ったよりも雪が悪い。しんがりで見えていた **M-SPO** がごうをにやして階段を作る。足、ひざ、ピッケルを使いすばやくステップをきる。



7 峰で雪壁。今度は **M-SPO** がリードをする。体が軽くあっさり抜ける。2 番手は **Yone**。効率よく登攀するためにアセnderで登る。先ほどの箇所よりさらに雪が悪く崩してしまう。しまいには **4m** ほど滑落。アセnderが効いたために途中で止るが大きなミス。慎重に進み何とか乗り越える。

5 峰付近では右側樹林を抜けるルートを **POND** が進む。樹林といっても太い幹ではなく枝の集合、足がわるい。さらにこの樹林から雪壁に抜けるところもギャップがあり取りつきにくい。

このあたりからフランス人と日本人のパーティと前後して進む。フランス人は日本語がペラペラ、名前をマーシュという。日本人も丁寧な人でお互いに気持ち良く進める。樹林帯を抜け終え次のピッチで待っていると追いついたマーシュのパーティから左側の岩塊を回ったほうがよかったと教えてもらった。



15 時三峰着、左側に多少のシュルントは入っているが斜度が緩い場所を見つけスタードームが張る。

コーヒーを飲みまったりしていると **M-SPO** はスペースが少ないといいだす。どうやらフライのショックコードを張り忘れた模様。しばらくして **M-SPO** が外に出てショックコードを張りなおすと確かにスペースができています。

夜中 1 時ころになると風が出てくる。風速は **30m** ほどか。朝おきるとほぼ新品だったボールがゆがんでいる。**ICI PAINE** スタードームのボールは $\phi 8.5\text{mm}7001$ 超々ジュラルミン、ゼロ戦にも使用されていた素材。これがゆがむのだから山の風はおどろきだ。

2012/5/5

3 時に起床、6 時過ぎに出発する。今日は雪がすこし舞い空には厚い雲がかかっている。予報では西高東低が緩み晴れ間が広がるはず。天気が遅れているのか。



三峰から二峰取りつきは右側に雪庇がはった尾根沿いを登る。傾斜も緩くすぐに抜ける。2 峰取りつきでマーシュパーティと会う。どうやら進み方がわからないよう。まずマーシュが右側フェースを偵察するが、セラックが発達していて登れる状況ではない。**POND** もあとで偵察して戻ってきた。

マーシュは右側岩塊にしっかりついた雪から、左の岩に乗り込みそのまま左上する。ベルグラがびっしりつきアイゼンが効かない。岩にアックスを差し込み、うまくバランスを取りながら左上雪の斜面に出る。**POND** も同じルートをとる。二峰を抜けるのに 3 時間ほどかかる。ゴールデンウィーク前半に主稜を登ったパーティは、二峰

についてほとんど記述ない。おそらく岩塊に積もっていた雪が丸ごと落ち、取りつきが難しくなったのではないかと推測する。

二峰ピークには 10 時半到着。晴れ間がのぞく。ルートもしっかりわかる。下を見ると後続のパーティが続々と追いついてくる。



ここまでくれば一峰はもう目の前。過去の山行記録では傾斜 60 度、60m の雪面ここが核心となっている。しかし下から見ていると、登攀してきたグズグズした雪で覆われたルートのほうがわかった。まずは POND がリードで抜ける。相変わらず安定した登攀。稜線直下でトラバースをする。外側に出るのでスノーバーでランニングビレイをとる。60m ロープを伸ばし無事に稜線に抜ける。



ブルージック登攀で順番に進む。青空が抜けこれぞ春山。13 時半ぶじ登攀完了。

頂上宿舎経由で白馬尻に戻りテント設営。

2012/5/6

テント撤収後 30 分で猿倉に戻る。みみずくの湯で汗を流し駅前にある割烹さわどでお昼ごはん。14 時半過ぎのあずさで東京へ戻る。皆様お疲れ様でした。